

**製品名: ANGP2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06895**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	55kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ANGPT2
別名	Angiopoietin-2 (ANG-2)
遺伝子 ID	285.0
SwissProt ID	O15123
免疫原	ヒト ANGP2 由来の合成ペプチド

**背景**

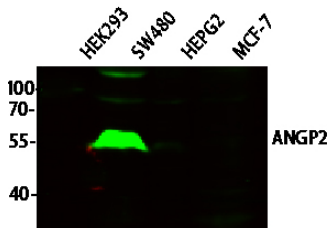
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、アンジオポエチン 1 (ANGPT1) および内皮 TEK チロシンキナーゼ (TIE-2、TEK) の拮抗薬である。このタンパク質は ANGPT1 の血管リモデリング能を阻害し、内皮細胞のアポトーシスを誘導する可能性がある。こ

の遺伝子には、3つの異なるアイソフォームをコードする3つの転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq提供、2008年7月]、機能: TIE2 受容体に結合し、アンジオポエチン1を介した血管の成熟/安定化を抑制する。その機能は状況依存的である可能性がある。VEGFなどの血管新生誘導因子がない場合、ANG2を介した細胞-マトリックス接触の緩和は、内皮細胞のアポトーシスを誘導し、結果として血管退縮を引き起こす可能性がある。VEGFと連携して、内皮細胞の移動と増殖を促進し、許容血管新生シグナルとして機能する可能性があります。、オンライン情報:アンジオポエチンエントリ、類似性:フィブリノーゲンC末端ドメインを1つ含みます。、

## 研究分野

心血管系

## 画像データ



さまざまな溶解液のウェスタンプロット分析、ANGP2ウサギポリクローナル抗体は1:1000に希釈され、4°で一晩処理され、二次抗体は1:10000に希釈され、37°で1時間処理されました。